



## 鴨居地区福祉まつり 特集 令和元年11月3日(日)開催

～今回の福祉まつりに参加された皆様から、感想をお寄せいただきました。以下にご紹介いたします。～

### 緑福祉保健センター担当部長

市川 一弘

11月3日、第19回「鴨居福祉まつり」に参加させていただきました。天候が不安視される中でしたが「たのしもう！つながろう！顔の見える関係」をテーマとして、大勢の方が参加されたこと、大変うれしく思います。

オープニングでは、鴨居小学校5・6年生有志によるソーラン節の演技等が行われ、子どもたちの元気な演舞に会場から大きな拍手が送られていました。子どもたちの元気な姿を見ることは、大人にも元気を与えてくれるのですね。



グラウンドでは模擬店の良い香りが漂う中、福祉器具の展示に熱心に説明を聞いておられた方がおられました。また、小学生の女の子が、車いすの体験乗車をしていました。

助け上手で助けられ上手になりましょう！との挨拶をさせていただきましたが、実践するとなると、人前では恥ずかしかったり、まだ乗るには…と思われる方も多いのではないのでしょうか。しかし、乗ってみたからこそ分かることが多くありますので、次の機会には是非、体験乗車を試みては如何でしょうか。

体育館では、自主制作品の販売をはじめ、模擬店や健康チェック、中央の休憩コーナーでは、多くの方が販売されていた炊き込みご飯や和菓子を食べながらの歓談や、復活した郷土芸能「鴨居囃子」の鑑賞をされるなど、幅広い世代に楽しんでもらえる工夫がなされていると思いました。

結びに、実行委員会の皆様、大変お疲れ様でした。楽しいひと時を過ごさせていただきましたこと、感謝申し上げますとともに、お礼申し上げます。ありがとうございました。

### 鴨居地域ケアプラザ 主任ケアマネジャー

藤沢 珠美

まちにまった鴨居福祉まつり。天気予報では雨だったので当日の朝までは心配でしたが、最後まで雨が降ることもなく無事終了することができてとても嬉しかったです。私は今年5月に鴨居地域ケアプラザに来て約半年になります。鴨居福祉まつりは、初めての参加でした。福祉用具の移動展示車の担当で、準備期間からどのようにして皆様がこの移動展示体験に興味を持って頂けるか、ワクワクしながら取り組んできました。校庭での展示車は初めてということもあり参加された方々



には、まだ馴染がないためか？人の流れがポツリポツリと少し寂しい気持ちになりました。が、来年こそは今回よりも皆様に興味をもって頂こうと強く決心しました。

地域の皆様・参加団体と共にふれあい楽しいひとときを過ごすことができました。この「鴨居福祉まつり」がいつまでも継続し今後とも盛大に行われることを強く願っています。最後に鴨居の福祉の拠点は鴨居地域ケアプラザとなるよう職員一同皆様にお役にたてるように努力してまいります。ありがとうございました。

福祉川柳コンテスト  
～ 入選作品紹介 ～

第一位 八木下 昭子  
皆の輪に 飛びこむ勇氣 笑顔有り

第二位 村上 公夫  
いき生きと あるく姿に 老いはなし

第三位 佐藤 チヨ子  
キャッシュレス

進まぬ我が家は アカン Day

## 保健活動推進委員 代表

櫻井 奈穂

保健活動推進員は、今年も鴨居福祉まつりに参加させていただき多くの来場者の皆さまに健康チェックを行いました。

今年は、新しい機器「健口（けんこう）くん」で口腔機能の測定をしました。「ぱ」「た」「か」をそれぞれ5秒間発音して口の周りや舌の動きを測定し「オーラルフレイル」をチェックします。「オーラルフレイル」は耳なじみのない単語ですが、口腔機能の軽微な低下などによる身体の衰え（フレイル）の一つです。始まりは、滑舌低下、食べこぼし、わずかなむせ等のほんの些細な症状で、見逃しやすく、気が付きにくく注意が必要といわれています。早めに気付き適切な対応をすることで、より健康な状態に近づくことができます。

健口くんで口腔機能の大切さを、体組成計で自身の身体の状態を気づいていただけたのではないかと感じました。

保健活動推進員は健康づくりのパートナーとして地域の皆さまのお役に立てるよう、来年も鴨居福祉まつりでお待ちしております！

## 青少年指導員連絡協議会

会長 中野 隆

今年も晴天の下 11 月 3 日文化の日に「福祉まつり」が開催された。

鴨居もそうだけれど中山や長津田など各地区の大きなお祭りも「なんでこの日なんだろう？」わからないけど、このまつり…第 1 回から参加している。

最初の頃は、前日の夜も多くの方で会場準備をしたものだが、今は慣れたもので、朝 8 時から準備開始してテキパキと進み 11 時開始の前に余裕で完了…鴨居地区で昨年購入した新しい音響システムのセットもばっちり、さあ開始！鴨居小学校児童のソーランでオープニングだ。

我々青少年指導員は、毎年夏休みに鴨居小学校を会場に行っている一泊二日の「わくわくキャンプ」で作る朝食のホットドックを再現し来場の方々に提供した。

鴨居には、多くの自治会行事があるが、これだけ子どもからお年寄りまで幅広く地域の方が集まって等しく楽しめるのは、このお祭りぐらいかな。

年を重ねても参加させてもらいますので、これからも開催の継続よろしくお祈りします。

## 鴨居おやじの会

副会長 栗本 豪

今年も「トン汁」で参加させて頂きました。野菜切りなど仕込みの手間はかかりますが、おやじの会といえばトン汁、と言って頂けることもあり、半ば使命感に駆られながらも楽しく取り組みました。「毎年の楽しみ」と買いに来て下さる先輩たちからのお言葉や、100 円玉を握りしめて列に並んでくれる子供たちの笑顔が、何よりの励みです。

私が鴨居に移り住んだのは約 10 年前ですが、初めて地域のイベントにお邪魔したのはこの福祉まつりでした。楽しそうにトン汁をふるまっているオジサン達に、その後自分が混じることになるとはその時は考えていませんでしたが、和気あいあいとお祭りが開催されている様子を見て、良い街に引っ越してきたなとホッとした記憶があります。多くの団体の皆さんが楽しく参加し、そこに地域の方々が訪れてやはり楽しく過ごす、という福祉まつりは、温かい地域作りに繋がっていると思います。運営された社協の皆様に敬意を表するとともに、今後の益々の盛会を祈念致します。

## ～鴨居小6年の皆さんからも

感想を寄せていただきました！～

○最初のレッツダンスウィズヨコハマで、音楽が聞こえなくてみんなバラバラになっちゃったけれど、音が分かってからは、間違い少なくてよかったと思います。そして、久しぶりに踊ったソーラン節は、練習は 1、2 回しかできず、少しの不安があったけれど、最後にみんなが集まって終わったときみんなが笑っていて、やりきったなと思いました。

地域の皆さんの前で踊れて良かったです。

○今年は 6 年生になり、ソーラン節だけではなくレッツダンスウィズヨコハマも加わり、良い雰囲気の中で踊ることができました。

福祉まつりはスタンプラリーやステージ発表もあり、地域のことが知れて、とても楽しむことができました。



○福祉まつりに初めて参加してみて、地域の方々とたくさんかかわることができたのでうれしかったです。ソーラン節やレッツダンスウィズヨコハマもみんな楽しく踊ることができて良かったです。

福祉まつり開催にあたり、御祝とご寄付をいただきました。ありがとうございます。

＜編集後記＞ 今回、初の試みとして「スタンプラリー」を実施いたしました。小学生の感想にもありましたように、多くの方に楽しんでいただけたのではないかと思います。今後も、福祉や関係団体の活動を知っていただくとともに、多くの皆様に楽しんでいただけるように、行事を成長させていきたいと思っております。